

東京大空襲 78 年

東京大空襲を 語り継ぐつどい

東京大空襲・戦災資料センター 開館 21 周年

○日 時 2023 年 3 月 5 日 (日)

開 場 13 時 開 会 13 時 30 分 (閉会予定 16 時 20 分)

○会 場 中村中学校・高等学校 フェニックスホール

○参加費 1,000 円

○定 員 100 名 (事前申し込み制 先着順 当日参加は出来ません)

◆ 講演 「錦州爆撃—忘れられた都市無差別爆撃」

山口大学名誉教授 こうけつ 瀬瀬厚氏



錦州爆撃(1931年10月8日)は、満州事変における一連の中国東北地域(「満州」)への軍事占領の一環として実行された日本軍最初の都市無差別爆撃だった。ゲルニカから重慶と続く都市無差別爆撃は、遂に敗戦の年、東京大空襲に代表される都市無差別爆撃へと続き、広島・長崎の原爆投下に帰結する。こうした一連の都市無差別爆撃の起点として錦州爆撃がある。その実相を紹介しつつ、ロシアによるウクライナ空爆の事実にも触れ、いまだに終わらない空襲の悲劇をも問い直してみたい。

◆ 東京大空襲を語り継ぐ

- *体験を語る「東京大空襲、6年生だった私」廣山敦あつさん
- *センターのこの一年の活動
- *センターで学ぶ子どもたち

◆ 早乙女名誉館長を偲ぶ(ビデオ上映)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大等により開催方法を変更することがあります。
予めご了承ください。

〈主 催〉東京大空襲を語り継ぐつどい実行委員会

〈連絡先〉東京大空襲・戦災資料センター

〒136-0073 東京都江東区北砂1-5-4

TEL:03-5857-5631 FAX:03-5683-3326

<https://tokyo-sensai.net/>

申込方法

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、事前に参加者の名簿を提出する必要があるため、**事前申し込み**となります。参加人数にも制限があるため、**先着順で100名**となります。

1. センターホームページ「お問い合わせ」より



2. FAX 03-5683-3326

3. 電話 03-5857-5631

申し込みの際には下記事項をお知らせください。

①参加者名 ②参加者の住所 ③携帯電話など当日連絡のつく電話番号

申し込み人数は2名まで

申込受付開始 2023年2月15日(水)

※ 後日、つどいの模様を録画した映像を、インターネットで有料限定配信し、DVDでも販売いたします。定員に達して会場参加できなかった場合などは、こちらでご視聴ください。

料金 いずれも1,000円 申し込み方法はホームページにて別途お知らせいたします。



会場案内

中村中学校・高等学校
フェニックスホール

〒135-8404 東京都江東区清澄 2-3-15

アクセス

東京メトロ半蔵門線
都営大江戸線「清澄白河」駅
A3 出口より 約徒歩3分

東京大空襲・戦災資料センター

1945年(昭和20年)3月10日未明、約300機のアメリカ軍爆撃機B29が、東京下町を目標に焼夷弾による無差別爆撃をおこないました。一帯は火炎地獄と化し、罹災者は100万人をこえ、推定10万人もの尊い命が失われました。東京は3月10日を含めて100回以上の空襲を受け、市街地の5割を焼失しました。

1970年から「東京空襲を記録する会」が空襲の実態の掘り起こしを進めましたが、東京都は1999年に「平和祈念館」建設計画を凍結。記録する会と財団法人政治経済研究所は、やむにやまれぬ思いで民間募金を呼びかけ、4000人超の方々のご協力を得て、2002年3月9日に東京大空襲・戦災資料センターが開館しました。開館から21年間、多くの会員のご支援のもと、民立民営の平和博物館として、来館者に空襲の実相、いのちと平和の尊さを伝えてきました。